

芦屋中央病院跡地検討に関する今後の方針

1 今後の方針について

芦屋中央病院跡地について、芦屋港レジャー港化の進捗状況を踏まえた活用を行うことで、跡地活用の可能性が向上します。このため、検討を一旦中断し、事業の状況を踏まえたうえで再度検討を行うこととします。

2 跡地活用の可能性について

(1) 土地の活用について

芦屋港レジャー港化が推進することで、飲食・直売施設、イベント広場等の整備が行われ、周辺地域がより良い環境となります。このため、交通の利便性が向上し、人の流れも増加する等波及効果が生まれ、病院跡地においても、商業施設の立地や居住施設及び福祉施設として価値が上がるのが想定されるため、活用の可能性が向上します。

(2) 建物の活用について

サウンディング調査では、老朽化及び規模が大きく改修費用が高額になる等の理由で、建物の活用を考える事業者はいませんでしたので、再活用は期待できない状況です。

なお、建物の増築部分（新館）を活用するためには、上水、電気、空調設備等ライフラインの制御基板やエレベーターは旧館側にあるため、全面的な更新が必要です。

(3) 公共施設の活用について

老人憩の家については、検討結果によります